

ぼくたち・わたしたちの 宍道湖・中海と ラムサール条約

日本最大の汽水域

初版:2015(平成27)年3月発行
 第2版:2015(平成27)年8月発行
 第3版:2019(平成31)年3月発行

発行

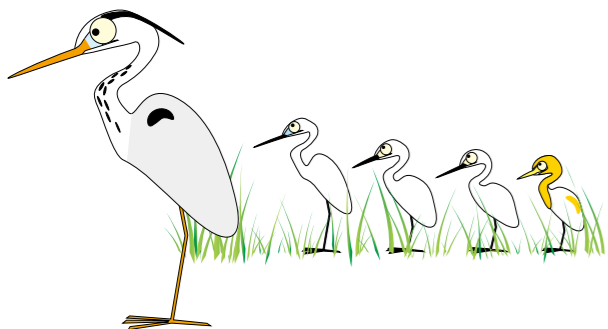
- 鳥取県生活環境部くらしの安心局 水環境保全課
 ☎(0857)26-7870
- 島根県環境生活部環境政策課
 ☎(0852)22-6445

写真・イラスト素材提供

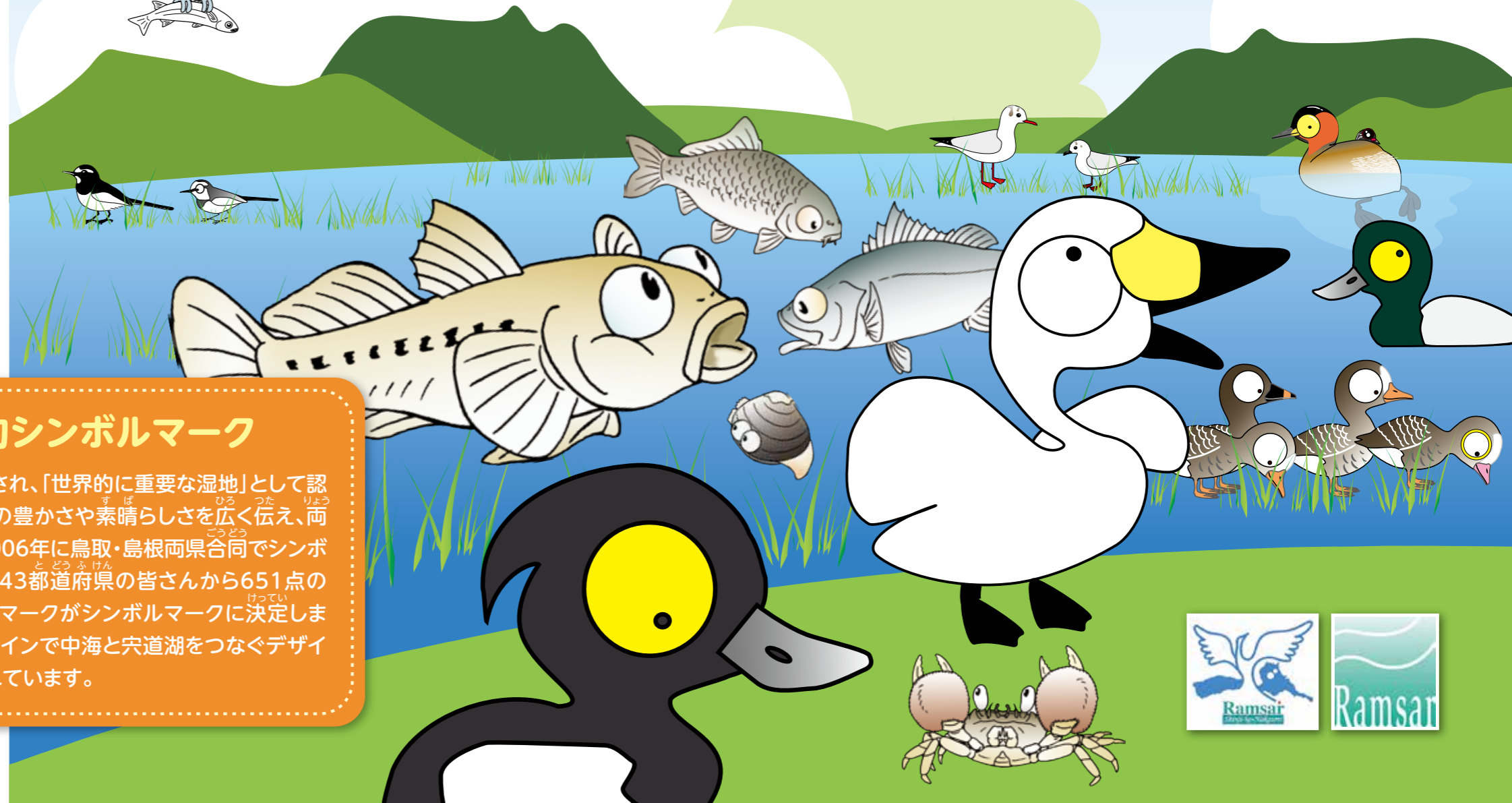
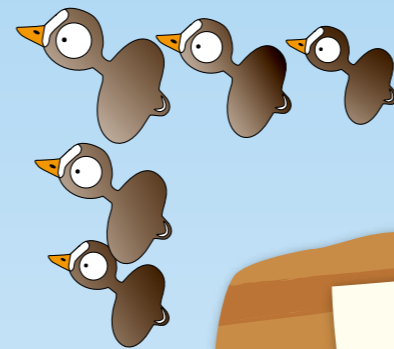
- 公益財団法人 ホシザキグリーン財団
 ☎(0853)63-7111
- 島根県立宍道湖自然館ゴビウス
 ☎(0853)63-7100

写真提供

- 公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
 ☎(0859)24-6139



登録
 認定書



5 宍道湖・中海ラムサール条約シンボルマーク



ラムサール条約に同時登録され、「世界的に重要な湿地」として認められた宍道湖と中海の自然の豊かさや素晴らしさを広く伝え、両湖への親しみを深めるため、2006年に鳥取・島根両県合同でシンボルマークを募集しました。全国43都道府県の皆さんから651点の応募があり、審査の結果、このマークがシンボルマークに決定しました。真ん中の水鳥を描いたラインで中海と宍道湖をつなぐデザインで、両湖の一体感が表現されています。



ラムサール条約って何？



ラムサール条約とは、湿地の保全と賢明な利用を進めることを目的とした条約です。
ラムサール条約ができるまでには、長い歴史がありました。

保全再生

水鳥の生息地だけでなく、私たちの生活環境を支える重要な生態系として、幅広く湿地の保全・再生を呼びかけています。

賢明な利用

ラムサール条約では、産業や地域の人々の生活とバランスのとれた保全を進めるために、湿地の「賢明な利用(wise use:ワイズユース)」を提唱しています。賢明な利用とは、湿地の生態系を維持しつつ、そこから得られる恵みを持続的に活用することです。

交流学習

ラムサール条約では、湿地の保全や賢明な利用のために、人々の交流や情報の交換、教育、普及啓発活動を進めることを決議しています。



はるか昔

川の近くなどの水辺には、たくさんの文明が栄えていた。



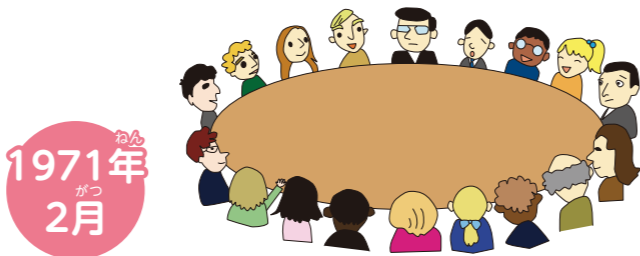
産業革命以降

水辺は次々に埋め立てられ、住宅地や工業地帯へと姿を変えていった。



そして

川は汚れ、多くの生きものが少しずつ姿を消した。



1971年2月

イランのカスピ海湖畔の町ラムサールに18カ国の代表が集まり、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択された。これが「ラムサール条約」である。日本は1980年にラムサール条約に加入した。

ラムサール条約締約国

条約を
むすんでいる国



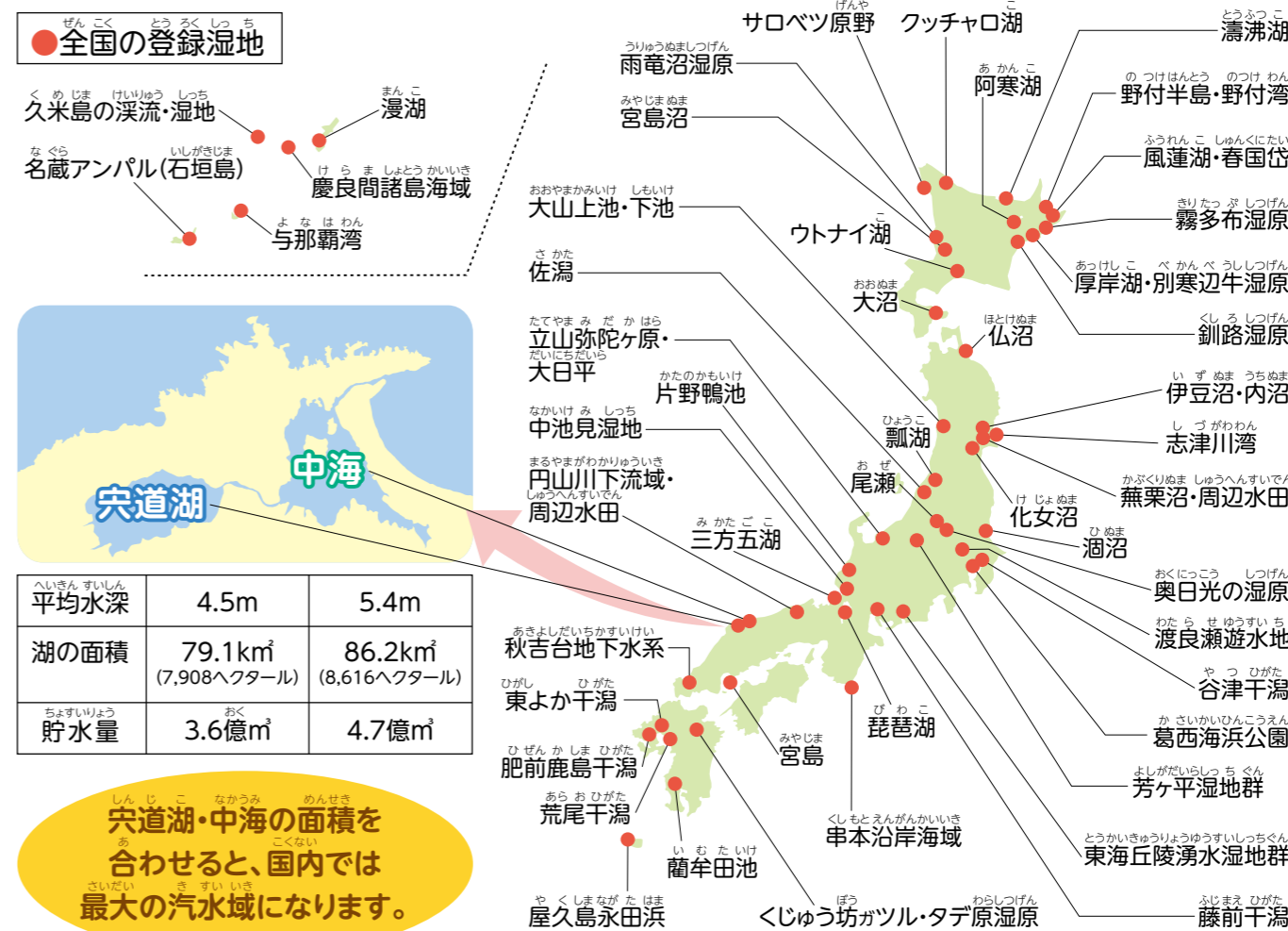
- 締約国数 **170の国と地域**
 - 条約登録湿地 **2,337ヶ所**
 - 総面積 **252,051,740ヘクタール** (2019年1月現在)
- ラムサール条約をむすんでいる国または地域
● ラムサール条約をむすんでいない国または地域

※この縮尺では表示されていない小さな国や地域があります。

宍道湖・中海 ラムサール条約登録

2005(平成17)年11月8日、アフリカのウガンダで第9回ラムサール条約締約国会議が開催されました。この会議で、宍道湖と中海は、「国際的に重要な湿地に係る登録簿」にくわえられました。宍道湖と中海は、世界的にたいへん重要な湿地であると認められたのです。

私たちはこの二つの湖を誇りに思い、自分たちだけでなく、これから生まれてくる人たちにもこの湖の恵みを残していかなければなりません。



日本は1980年に釧路湿原を最初の登録湿地として、ラムサール条約に仲間入りしました。その後少しずつ登録湿地をふやし、2019年3月現在、全部で52カ所あります。

1 ポケット沼 湿地とは？

ラムサール条約では、人工のものも、時々水がかれてなくなってしまうようなところも、水が流れていない湖のようなところも、すべて湿地と考えられています。そして、水の深さが6mまでの海もふくまれており、ほとんどすべての水辺が湿地ということになります。

これも湿地



あれも湿地





3,000羽をこえる
マガンがくる!

穴道湖と中海はなぜ

ラムサール条約の登録湿地には、どんな湿地でもなれるにはいくつかの基準をみたしていないといけません。穴道湖と中海はともに「汽水湖」です。汽水とは、海水と真水の濃度がちがうため、それぞれにちがった特色があります。

登録湿地になれたの?

わけではありません。国際的に重要な湿地と認められるためと中海はそれらの基準をたくさんみたしています。水がまざりあった塩分の少ない水のことで、穴道湖と中海です。



1,000羽をこえる
コハクチョウがくる!

穴道湖・中海は世界に誇れるすばらしい湿地

穴道湖 中海

穴道湖の塩分濃度は海水の1/10

中海の塩分濃度は海水の1/2



20,000羽をこえる
キンクロハジロがくる!

国際的な基準5

「水鳥が2万羽以上利用

穴道湖・中海どちらも、毎年4万羽

国際的な基準6

「水鳥の1種の総個体数の1%

穴道湖・中海どちらも、1万羽

すること」という基準に対して

をこえるガンやカモがくる!!

が利用すること」という基準に対して

ちかいスズガモがくる!



20,000羽をこえる
ホシハジロがくる!

国際的な基準7

「固有な魚類の種の相当な割合を支えている」という基準に対して

シンジコハゼの代表的な生息地!



国際的な基準8

「魚類(貝類を含む)の成育場として重要な湿地。漁業資源の重要な回遊経路」という基準に対して

ヤマトシジミは日本有数の漁獲量を誇る!
穴道湖七珍は豊富な漁業資源の象徴!



2
ポケットガモ

登録湿地になるための基準

- 基準1 特定の生物地理区を代表するタイプの湿地、または希少なタイプの湿地
- 基準2 絶滅のおそれのある種や群集を支えている湿地
- 基準3 生物地理区における生物多様性の維持に重要な動植物を支えている湿地
- 基準4 動植物のライフサイクルの重要な段階を支えている湿地。または悪条件の期間中に動植物の避難場所となる湿地
- 基準5 定期的に2万羽以上の水鳥を支える湿地
- 基準6 水鳥の1種または1亜種の個体群で、個体数の1%以上を定期的に支えている湿地
- 基準7 固有な魚類の亜種、種、科の相当な割合を支えている湿地。また湿地というものの価値を代表するような、魚類の生活史の諸段階や、種間相互作用、個体群を支え、それによって世界の生物多様性に貢献するような湿地
- 基準8 魚類の食物源、産卵場、稚魚の成育場として重要な湿地。あるいは湿地内外における漁業資源の重要な回遊経路となっている湿地
- 基準9 湿地に依存する鳥類に分類されない動物の種及び亜種の個体群で、その個体群の1パーセントを定期的に支えている湿地

※ここで言う魚類には、魚の他に、エビ・カニ、貝類を含みます。

穴道湖

穴道湖・中海の生きものや風景

中海

どちらの湖にもたくさんの水鳥たちがやってきます!

珍しい水鳥たちにあえるかな?



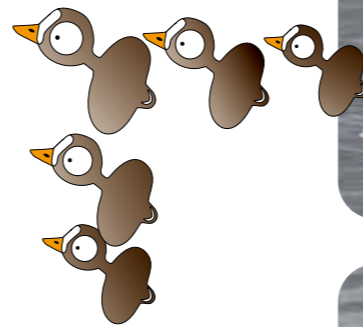
ヒシクイ



ホオジロガモ



ハジロカイツブリ



オオハクチョウ



オナガガモ



カイツブリ



ハマシギ



スグロカモメ



ミサゴ



セイタカシギ



ヨシゴイ



チュウビ

いろいろな魚や植物がいます!



スズキ



シラウオ



ワカサギ(アマサギ)



アサリ



サルボウ貝



ヒイラギ



ナゴヤサナエ



ヨシ群落



オゴリ



コアマモ

いろいろなところで美しい景色が楽しめます! 湖の近くにもいけるよ!!



穴道湖ふれあいパーク



秋鹿なぎさ公園



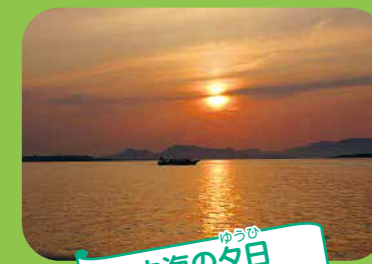
展望台から望む穴道湖



大山と中海



白鳥海岸



中海の夕日

ラムサール条約の目的に沿った活動

保全再生

湿地はたくさんの動物や植物たちが住んでいるとても大切な場所です。湿地の環境を守り、未来へ引き継いでいくため、中海・宍道湖でもいろいろな取り組みが行われています。

中海・宍道湖一斉清掃

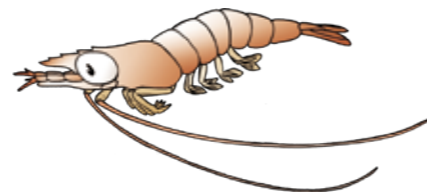
中海と宍道湖では、以前から、湖のまわりの地域で、それぞれに清掃活動が実施されていましたが、ラムサール条約に登録されたことをきっかけとして、鳥取県、島根県、周辺の市、町が地域の人たちと協力し、2006年から、両方の湖で同じ日に一斉に清掃活動を行う「中海・宍道湖一斉清掃」が始まりました。

この一斉清掃は、環境月間である6月の第2日曜日に実施されており、毎年約8,000人が参加する取り組みになりました。湖の豊かな自然環境を守り、未来へ引き継いでいくため、みなさんもぜひ一斉清掃に参加してください。



ヨシの刈り取り

宍道湖には、たくさんのヨシ帯が広がっています。冬になって、枯れたヨシが湖に流れ出てよごれの原因になってしまわないように、地元の企業や団体のみなさんの協力を得て、ボランティアでの刈り取りが行われています。



地域の清掃・美化活動

1年に1回の一斉清掃だけではなく、日ごろから地域の人たちが、自分たちの住んでいる場所やその周辺の清掃活動や美化活動に取り組まれています。



賢明な利用【ワイズユース】

湿地の環境を守るだけでなく、湿地を上手に利用していこうという考え方があります。この考え方を英語で「ワイズユース(wise use)」といいます。

ワイズユースの形はいろいろ

おいしい魚や貝がとれたり、水辺で遊んだり、お祭りを楽しんだりすることができるなど、普段の生活の中で、誰もが中海・宍道湖を上手に利用しています。

中海



水辺のコンサート

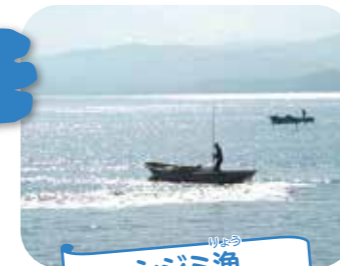


オープンウォータースイム



海藻刈り

宍道湖



シジミ漁



ハゼ釣り



夕日を眺める

ワイズユースのための取り組み

鳥取・島根両県では、「中海・宍道湖」の保全と賢明な利用を進めるため、両県リレー形式でシンポジウム(ミニ講演会、学習会など)を開催してきました。



学習



体験



発表



交流学習

湿地の環境を守り、上手に利用していくため、湿地のことを勉強したり、自分たちの住んでいる地域の人たちやほかの湿地の人たちとついでに考えたりすることがとても大切です。

全国子ども湿地交流会

鳥取・島根両県では、次の世代のリーダーとなる人が育ってくれることを願って、中海・宍道湖と全国の湿地で活動している子どもたちの交流会を続けています。



2015 中海 (韓国、香港、豊岡、滋賀)



2016 ウポ沼 (韓国)



2017 秋吉台 (山口県)

学習

船に乗って湖の観察をしたり、湖に流れ込んでいる川の水質や生きものを調べたり、野鳥や魚の観察施設へ行ったり、地域の人から昔の話を聞いたり、いろいろな方法で湖の自然環境のことを考えてみましょう。



湖上観察学習



水質調査



バードウォッチング



湖の歴史を勉強



学習成果のまとめ



記念事業

中海・宍道湖がラムサール条約に登録されて1周年、5周年、10周年の節目には、記念事業を開催しました。

1周年記念イベント

中海と宍道湖がラムサール条約に登録されてから1年後の2006年12月に、鳥取県、島根県、周辺の市、町が協力して「中海・宍道湖 ラムサール条約登録1周年記念大会」を開催しました。



大会宣言

私たちの財産である中海・宍道湖の環境を保全再生し、豊かな環境を次の世代に引き継いでいきます。中海・宍道湖の生態系を維持しながら、豊かな恵みを持続的に活用できるよう「賢明な利用」に努めます。大人も子どもも、みんなで力を合わせて、一人一人ができることから、すぐに取り組みを始めます。

5周年記念イベント

2010年には、条約登録5周年を記念し、鳥取・島根両県で展示会、シンポジウム、日本と韓国の子どもたちとの交流事業などを実施しました。



北東アジア子ども交流会 「湿地の宝」を見つけたよ!!



記念シンポジウム 「次世代へつなぐ豊かな恵み」



未来の中海・宍道湖へのメッセージ 子ども環境ミュージカル「あいと地球と競売人」

10周年記念イベント

2015年には、条約登録10周年を記念して鳥取・島根両県で記念シンポジウム(米子市)やラムサールフェア(松江市)、アジア子ども交流会を開催しました。



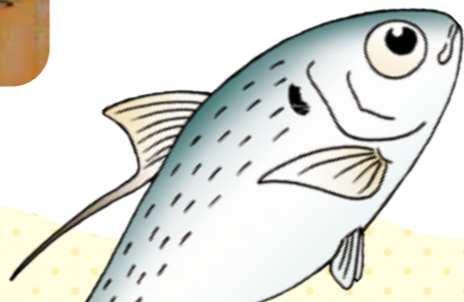
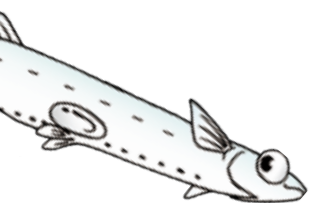
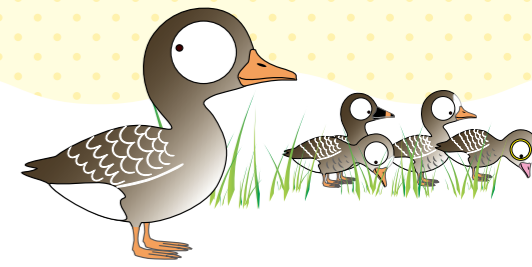
記念シンポジウム



ラムサールフェア

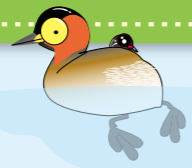
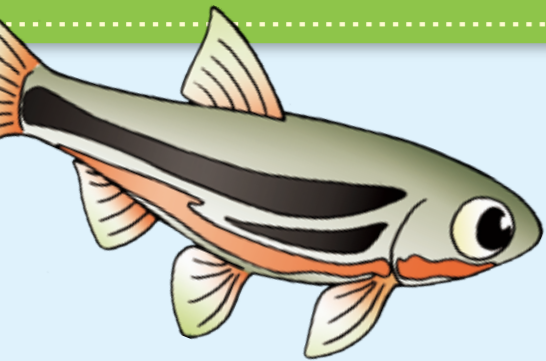


アジア子ども交流会



宍道湖・中海をもっと楽しむために

ここでは、宍道湖と中海の自然や風景を楽しむための施設を紹介します。それぞれの施設では、宍道湖や中海についての質問に答えてもらえたり、いろいろな遊びを教えてください、美しい風景を眺めることができたりします。来て見てさわって、宍道湖と中海をもっと好きになりましょう!!



日本海

島根県

中海

宍道湖

鳥取県

1
2
3
4
5

10

枕木山から望む
大山、中海、大根島、江島

島根半島北山山系の標高456mの枕木山山頂からの眺めは絶景。東側には中海、大山、西側には三瓶山を望む名所。山頂には1200年の伝統と多くの文化財を有する華蔵寺がたたずむ。

9

ベタ踏み坂
(江島大橋)

鳥取県境港市渡町と島根県松江市八束町を結ぶ全長1446.2m、水面からの高さ44.7mの日本最大級のPCラーメン構造の橋。

境港管理組合 ☎0859-42-3705

1

宍道湖グリーンパーク

宍道湖が一望できる野鳥観察舎には望遠鏡があり野鳥観察が楽しめます。毎月の自然観察会や、夏や冬に開催される企画展も鳥や昆虫、植物などさまざまなテーマがあり楽しく学べます。

☎0853-63-0787

8

とっとり自然環境館

53.2ヘクタールに及ぶ「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」の敷地内にあり、ソーラーパークの見学や自然エネルギー活用方法、鳥取県の豊かな自然等について学習することができます。

☎0859-21-8533

2

島根県立宍道湖自然館
ゴビウス

宍道湖・中海の魚や、川の生きものを展示している水族館です。毎月生きもの観察会を開催しているほか、特別展やイベントなどもあり、遊んで学べる水族館です。

☎0853-63-7100

3

島根県立青少年の家
(サン・レイク)

宍道湖でカッターやサバナ、カヌーなどの船にのる体験ができます。また、宿泊研修ができます。どちらも予約が必要です。

☎0853-69-1316

4

秋鹿なぎさ公園

宍道湖でカヌー・ヨット・セーリングカッターやペダルボートを教えてもらうことができます。しばふ広場には炊事棟があり、ディキャンプも楽しめます。

☎0852-88-3700

5

島根県立美術館

宍道湖畔に絶好のロケーションをもつ美術館で、ロビーからのながめ、水辺へのアプローチは、抜群です。「水と調和する美術館」としても知られています。

☎0852-55-4700

6

湊山公園

子どもから高齢者まで楽しめる公園。春の桜祭り、夏のいがいな祭り花火大会、秋の市民大茶会などが開催され、多くの市民の憩いの場となっています。SL(D-51)の展示や遊具広場、約50匹の猿が飼育される猿山もあり、子ども連れにもオススメ。

☎0859-37-2311

7

米子水鳥公園

中海の東はしにあり、楽しみながら鳥たちを身近に体感できる施設がととのっています。観察会やイベントも行われています。

☎0859-24-6139

登録湿地になると何が変わるの？

ラムサール条約の登録湿地になった宍道湖と中海は、世界中の人に注目されています。宍道湖と中海はすばらしい湖ですが、水質の悪化やアオコ・赤潮など問題もたくさんあります。これから二つの湖が、もっともっとすばらしい場所になるように、私たち一人一人が心がけて、行動していかなければ何も変わらないのです。あなたにできることを一つでも始めてみませんか？

わたし自身が変わることが大切



3 ラムサール度チェック

あなたの生活の中で、湿地の自然を守るために気をつけていることは何ですか？
あてはまる場所にチェックマークを入れてみましょう。

 <input type="checkbox"/> バードウォッチングをする	 <input type="checkbox"/> 生きものや自然のことを調べる	 <input type="checkbox"/> 釣りや川遊びをする
 <input type="checkbox"/> 観察会にさんかする	 <input type="checkbox"/> 美しい景色をながめる	 <input type="checkbox"/> 湖岸のゴミひろいをする
 <input type="checkbox"/> マイバッグをもって買い物に行く	 <input type="checkbox"/> 食べ残しをしない	 <input type="checkbox"/> 食べ残しを直接流さない

他にどんなことができるか考えてみましょう

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------	--------------------------

やるぞ!! ラムサール活動大作戦

宍道湖・中海の自然を守るためにやってみたいことや、自分の生活の中での目標を考えてみましょう。

こんなことをやってみよう!!

ラムサール条約や宍道湖・中海のことをもっと知ろう!!

宍道湖や中海に出かけてみよう!

<p>見つけたこと</p> <p>いつ 年 月 日()</p> <p>どこで()</p> <p>何を</p>	<p>見つけたこと</p> <p>いつ 年 月 日()</p> <p>どこで()</p> <p>何を</p>	
<p>調べてみよう!</p> <p>調べたこと</p>	<p>! 分かったこと</p>	<p>? 分からなかったこと</p>

4 五感で宍道湖・中海をチェック!!

湖の環境を評価するときに使われる科学的な数値は、住民の皆さんにはとてもわかりにくいものです。そこで、島根県と鳥取県では、湖の環境を誰でも簡単にチェックできるように、五感によるチェックリストを作成しました。五感とは、私たちが感じることでできる「見る」、「聞く」、「嗅ぐ」、「味わう」、「触れる」という感覚のことです。実際に、宍道湖や中海に行って、自分の感覚でチェックすると、湖の状態がよくわかります。ぜひチェックしてみましょう。

【五感チェックリスト】

観察日	月	日	観察地	天気	五感	観察する内容	点数のつけ方	見るところ、聞くとところ(例)	点数
見	水はきれいかな?	とてもきれい、澄んでいる	(20点)	すきとおっている、底が見える	点				
		すこしにごっている	(10点)						
		にごっている	(0点)						
見	ゴミはないかな?	ほとんどない	(20点)	水の上や岸にゴミはないか	点				
		すこしある	(10点)						
		たくさんある	(0点)						
見	景色はどうかかな?	美しい、ながめがよい	(10点)	朝日・夕日・シジミ漁の船、山や建物 など	点				
		ふつう、いつもと変わらない	(5点)						
		あまりよくない、ながめがわるい	(0点)						
聞く	どんな音が聞こえるかな?	とてもすずか、いい音が聞こえる	(10点)	鳥の鳴き声、波の音、かねの音、船の音、車の音、工場の音 など	点				
		特に気にならない	(5点)						
		うるさい	(0点)						
嗅ぐ	何かにおうかな?	いいにおいがする、においを感じない	(20点)	水におい、木や草花におい、魚におい、排気ガスにおい、けむりにおい など	点				
		特に気にならない	(10点)						
		何かにおう	(0点)						
味わう	魚や貝をとって食べてみたい?	食べてみたい	(10点)	シジミ、シラウオ、アサリなど湖でとれる魚や貝を食べてみたいかどうか	点				
		どちらでもない	(5点)						
		食べたくない	(0点)						
触れる	水をさわってみたい?	きもちいい	(10点)	水に手や足をつけてみたいかどうか水をさわってみたいかどうか	点				
		ふつう	(5点)						
		きもちわるい、さわりたくない	(0点)						